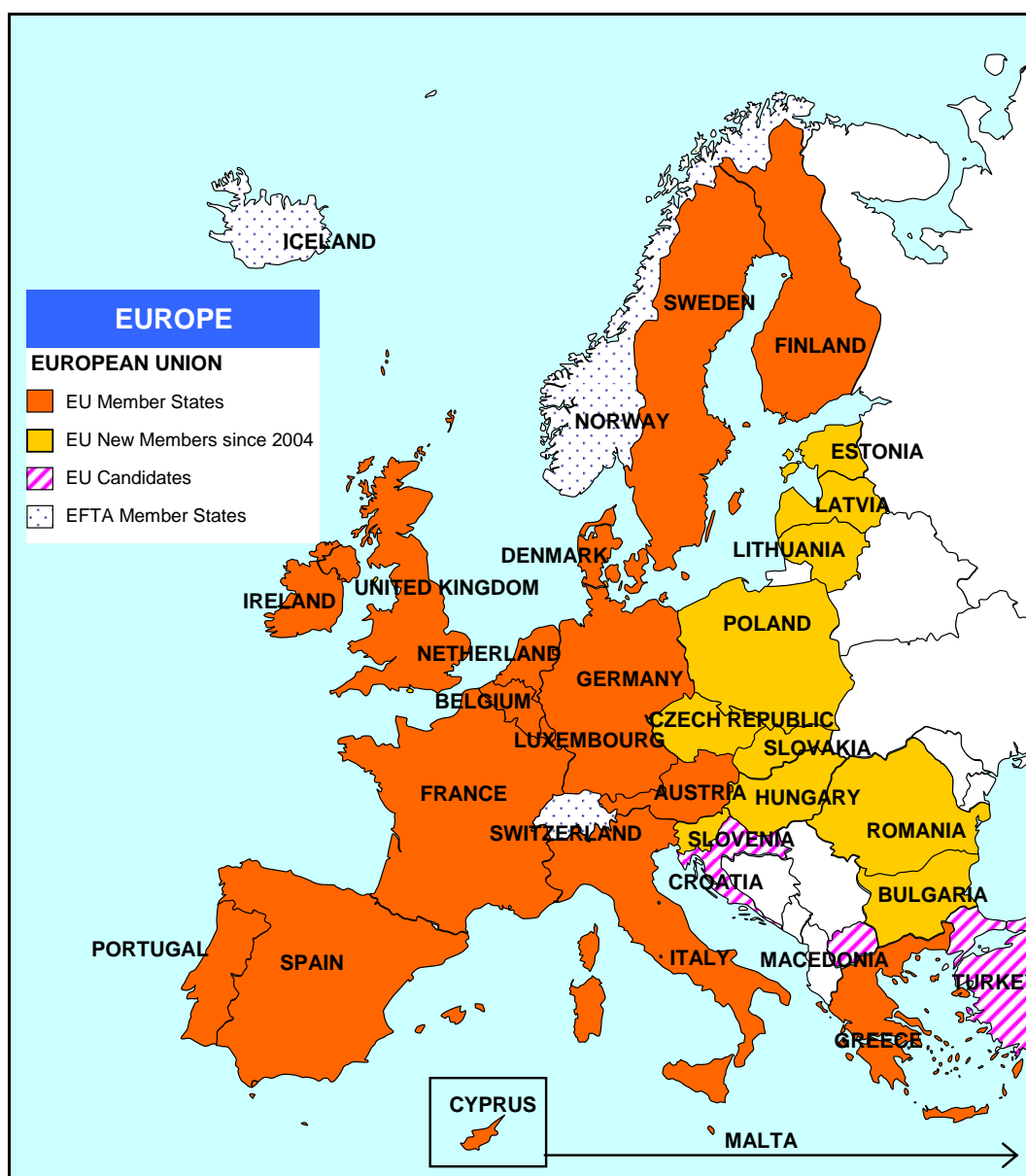


2013年5月22日 全13頁

欧州経済アップデート (2013.5)

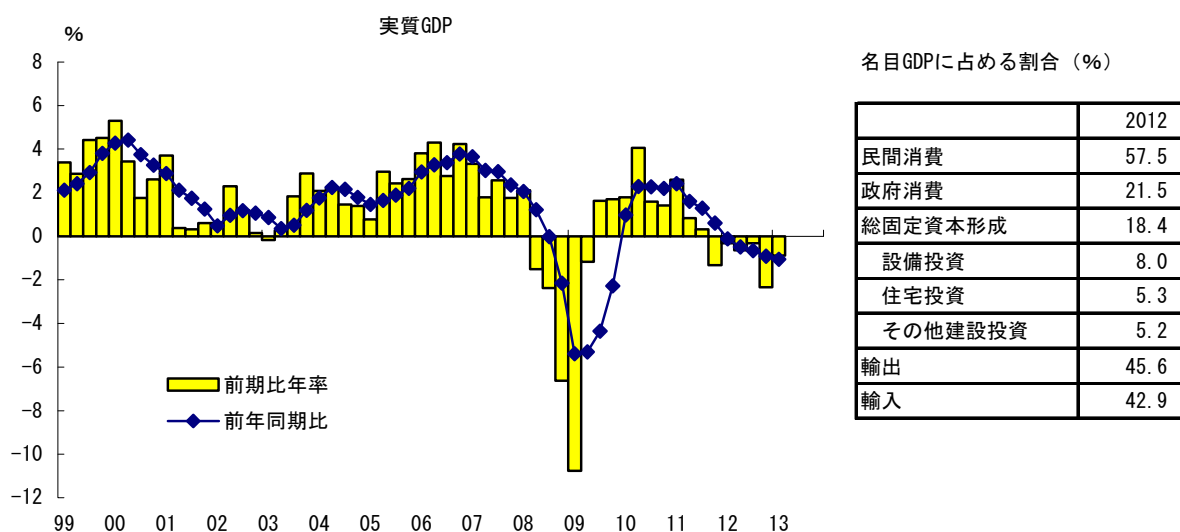
経済調査部
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 13年Q1のGDP成長率(速報)は前期比-0.2%となり、6四半期連続のマイナス成長を記録。99年のユーロ導入以来、最長の景気後退局面となった
- ユーロ圏コア国の中ではドイツのみがプラス成長となったが、フランス、イタリア、スペイン、オランダなどはマイナス成長が継続
- 13年Q1の内訳は6月5日に発表予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：％）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1
実質GDP	0.4	1.0	0.4	0.4	0.6	0.2	0.1	-0.3	-0.1	-0.2	-0.1	-0.6	-0.2
個人消費	0.2	0.2	0.2	0.5	-0.0	-0.5	0.3	-0.7	-0.2	-0.5	-0.2	-0.5	-
政府消費	-0.3	0.1	0.3	-0.1	-0.3	0.0	-0.1	0.0	-0.1	-0.3	-0.1	0.1	-
総固定資本形成	-0.4	1.9	0.2	-0.6	1.9	-0.2	-0.4	-0.5	-1.4	-1.6	-0.8	-1.2	-
設備投資	1.7	2.8	1.5	1.1	1.4	0.6	0.4	-0.6	-1.1	-1.4	-1.2	-1.4	-
住宅投資	-0.2	1.9	-0.6	-1.8	2.9	-0.7	-0.7	-0.7	-0.8	-1.6	-0.2	-1.4	-
その他建設投資	-3.3	0.6	-0.7	-1.9	1.9	-0.9	-1.1	-0.3	-2.4	-2.0	-0.7	-0.7	-
輸出	2.8	4.5	2.0	2.0	1.7	0.5	1.3	0.0	0.5	1.7	0.9	-0.8	-
輸入	3.3	4.1	1.4	1.7	1.3	0.1	0.5	-1.2	-0.4	0.6	0.1	-0.9	-

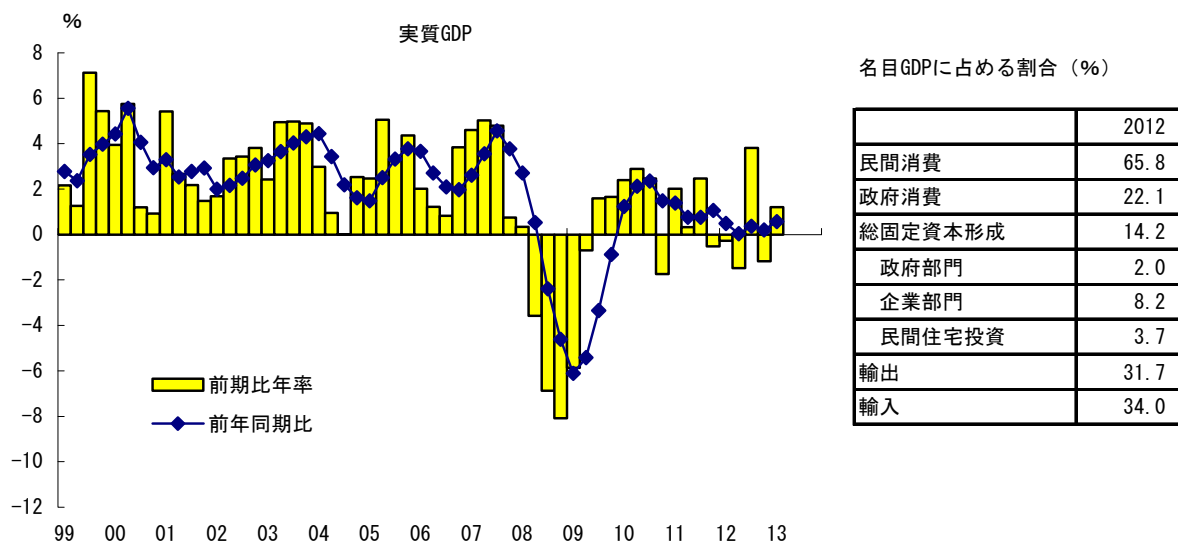
ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：％）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1
実質GDP	0.44	1.00	0.39	0.35	0.64	0.21	0.08	-0.33	-0.08	-0.16	-0.08	-0.59	-0.22
個人消費	0.11	0.12	0.14	0.29	-0.02	-0.27	0.15	-0.40	-0.13	-0.29	-0.09	-0.26	-
政府消費	-0.07	0.02	0.07	-0.02	-0.06	0.00	-0.02	0.00	-0.02	-0.06	-0.02	0.02	-
総固定資本形成	-0.07	0.36	0.05	-0.11	0.36	-0.04	-0.07	-0.10	-0.26	-0.30	-0.14	-0.22	-
設備投資	0.14	0.23	0.13	0.09	0.12	0.05	0.03	-0.05	-0.10	-0.12	-0.10	-0.12	-
住宅投資	-0.01	0.10	-0.03	-0.10	0.15	-0.04	-0.04	-0.04	-0.04	-0.08	-0.01	-0.07	-
その他建設投資	-0.18	0.03	-0.04	-0.10	0.09	-0.05	-0.06	-0.02	-0.12	-0.09	-0.03	-0.03	-
在庫変動	0.63	0.27	-0.11	0.05	0.17	0.33	-0.34	-0.34	-0.09	0.02	-0.21	-0.14	-
輸出	1.08	1.82	0.82	0.84	0.72	0.23	0.58	0.00	0.23	0.74	0.43	-0.36	-
輸入	-1.25	-1.58	-0.56	-0.70	-0.52	-0.04	-0.20	0.51	0.18	-0.26	-0.05	0.37	-
純輸出	-0.17	0.24	0.26	0.15	0.20	0.20	0.38	0.51	0.40	0.48	0.38	0.01	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 GDP

- 13年Q1のGDP成長率（速報）は前期比+0.3%とプラス成長に転換
- サービスセクターのプラス寄与が+0.47%ptと最も大きかった。また、生産セクターもわずかながらプラス寄与となった（+0.03%pt）
- 一方、建設セクターは前期比-2.5%となり、同-0.17%ptのマイナス寄与となった。特にインフラ以外の新規公共事業が低迷し、1、2月は過去最低水準を記録



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1
実質GDP	0.6	0.7	0.6	-0.4	0.5	0.1	0.6	-0.1	-0.1	-0.4	0.9	-0.3	0.3
個人消費	-0.0	1.0	-0.1	0.3	-1.0	-0.2	-0.2	0.4	0.3	0.7	0.2	0.3	-
政府消費	-0.2	0.1	-0.7	-0.1	-0.3	0.5	-0.0	0.3	2.9	-1.7	0.3	0.6	-
総固定資本形成	5.1	-2.7	2.8	-1.7	-2.4	-0.2	0.6	-0.3	0.5	1.7	-0.4	-0.2	-
政府部門	12.5	-14.4	0.1	0.4	-17.8	-9.4	3.7	-6.1	8.7	-5.9	6.6	3.8	-
企業部門	8.0	-5.8	3.6	-0.5	-1.9	4.7	2.2	2.3	-0.2	1.6	0.2	-0.8	-
民間住宅投資	-1.8	12.4	3.2	-4.8	8.2	-5.2	-3.1	-2.7	-1.5	6.7	-6.1	-2.6	-
輸出	-0.4	4.0	0.9	3.3	1.3	-1.8	-0.2	3.1	-1.5	-1.1	1.8	-1.6	-
輸入	2.0	2.9	2.1	1.5	-2.9	-0.7	0.6	1.4	0.6	1.3	0.3	-1.0	-

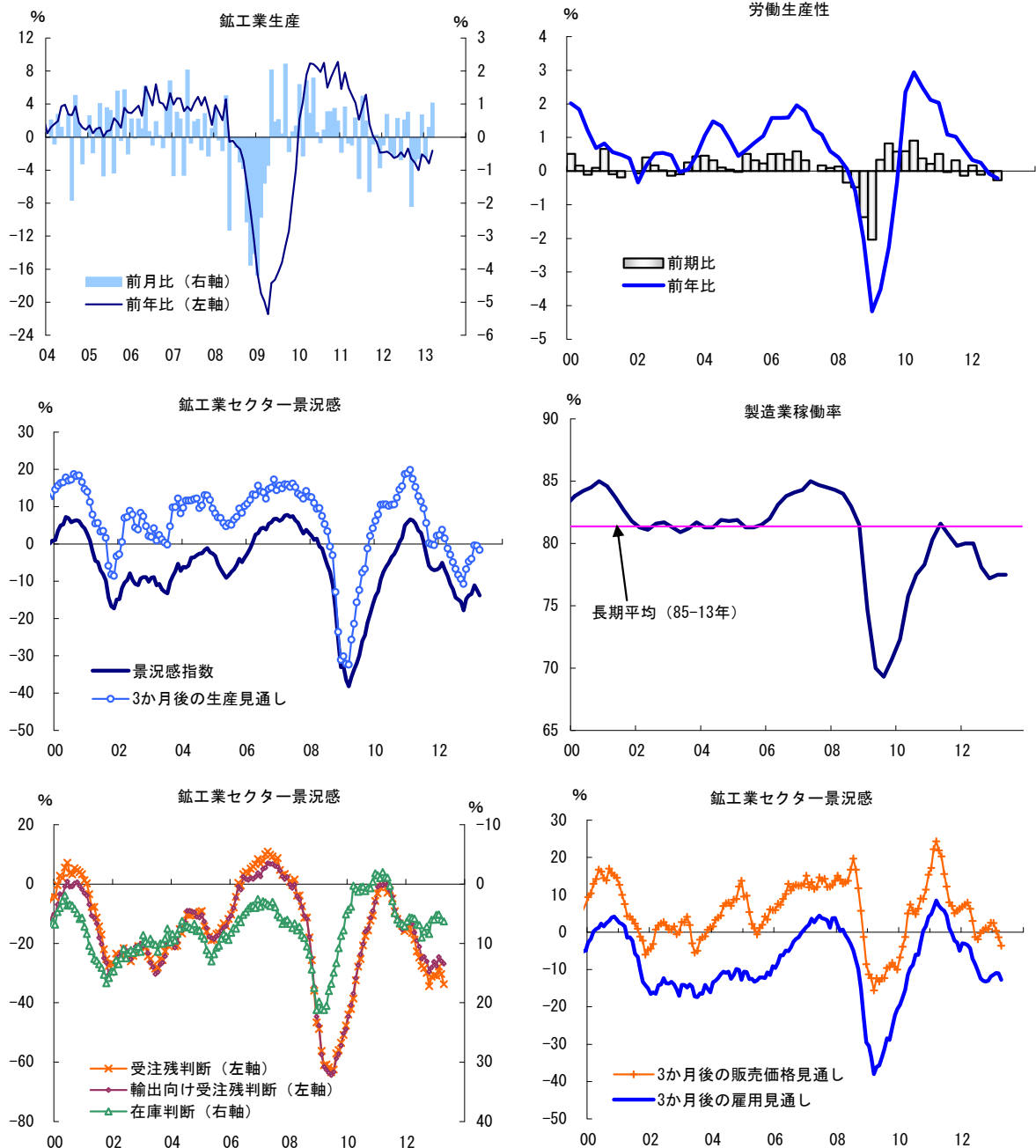
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1
実質GDP	0.59	0.71	0.61	-0.43	0.50	0.08	0.61	-0.13	-0.07	-0.37	0.94	-0.29	0.30
個人消費	-0.01	0.61	-0.09	0.19	-0.67	-0.10	-0.15	0.25	0.20	0.43	0.14	0.20	-
政府消費	-0.04	0.03	-0.17	-0.02	-0.07	0.11	-0.01	0.06	0.66	-0.40	0.08	0.13	-
総固定資本形成	0.76	-0.41	0.41	-0.26	-0.36	-0.03	0.09	-0.04	0.07	0.24	-0.07	-0.03	-
政府部門	0.34	-0.44	0.00	0.01	-0.47	-0.20	0.07	-0.12	0.16	-0.12	0.13	0.08	-
企業部門	0.62	-0.48	0.28	-0.04	-0.15	0.37	0.18	0.19	-0.02	0.14	0.02	-0.07	-
民間住宅投資	-0.07	0.47	0.14	-0.21	0.34	-0.23	-0.13	-0.11	-0.06	0.26	-0.26	-0.10	-
在庫変動	0.32	0.23	0.84	-0.86	0.06	0.38	0.93	-0.85	-0.26	0.19	0.40	-0.39	-
輸出	-0.13	1.16	0.27	0.99	0.41	-0.57	-0.06	0.95	-0.48	-0.35	0.55	-0.51	-
輸入	-0.61	-0.90	-0.66	-0.49	0.96	0.23	-0.20	-0.45	-0.18	-0.41	-0.11	0.32	-
純輸出	-0.74	0.25	-0.39	0.50	1.37	-0.34	-0.25	0.50	-0.66	-0.76	0.44	-0.20	-

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 3月の鉱工業生産は前月比では+1.0%と2か月連続のプラス成長だが、前年比は-1.7%
- 4月の鉱工業セクター景況感は2か月連続の前月比悪化。構成項目はすべて悪化した。特に受注残判断の悪化が目立つ
- 13年Q2の製造業稼働率は77.5%とQ1と変わらず

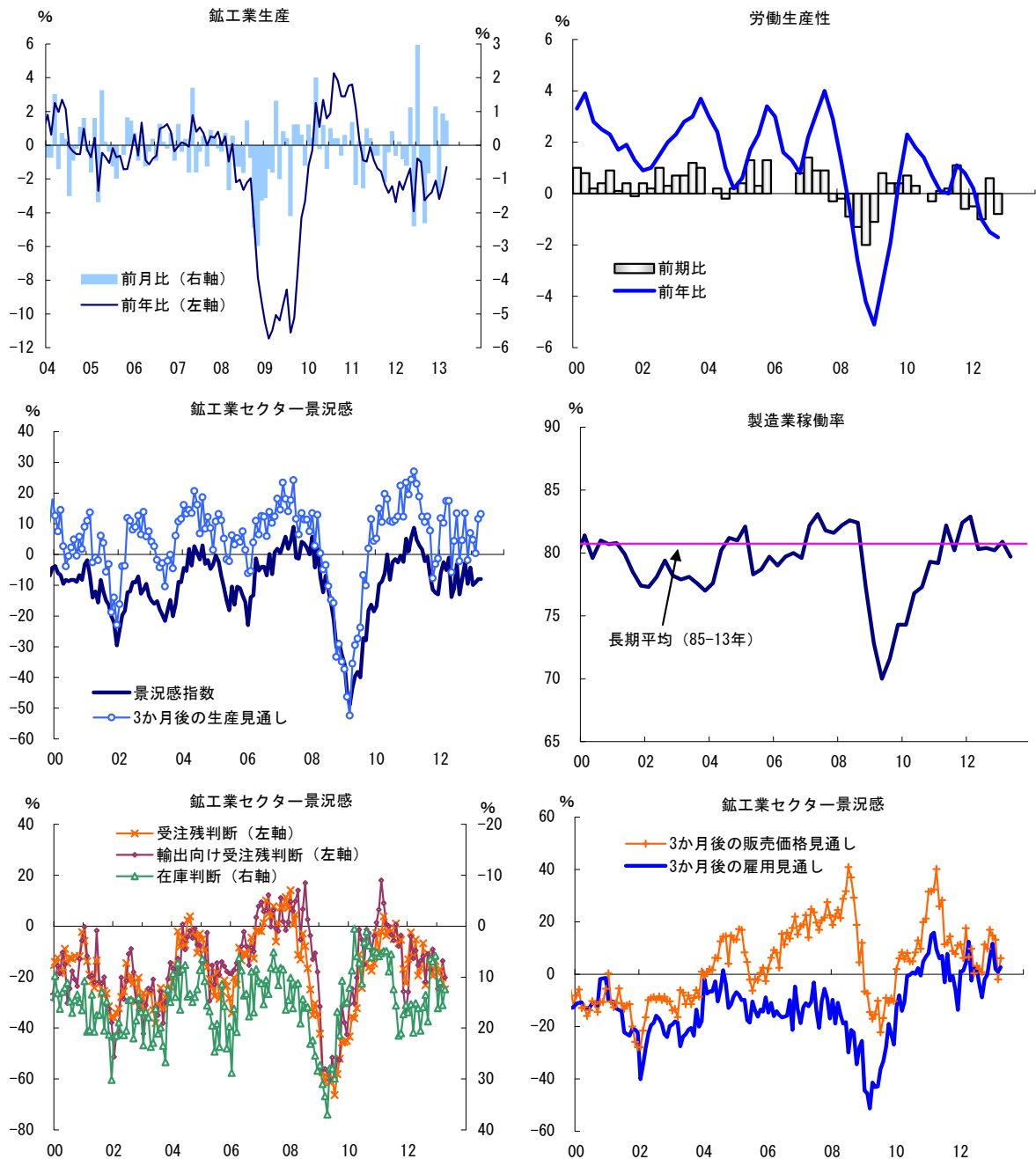


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 3月の鉱工業生産は前月比+0.7%、前年比-1.4%。史上最も気温の低い3月となったため、電気ガスセクターの生産が増加し、前月比プラスや前年比下落率縮小に大きく寄与した
- 4月の鉱工業セクター景況感は3月と変わらず。3か月後の生産見通しや在庫判断は改善したが、受注残判断が悪化
- 13年Q2の製造業稼働率は79.9%となり、11年Q1以降初めて80%台を割り込んだ

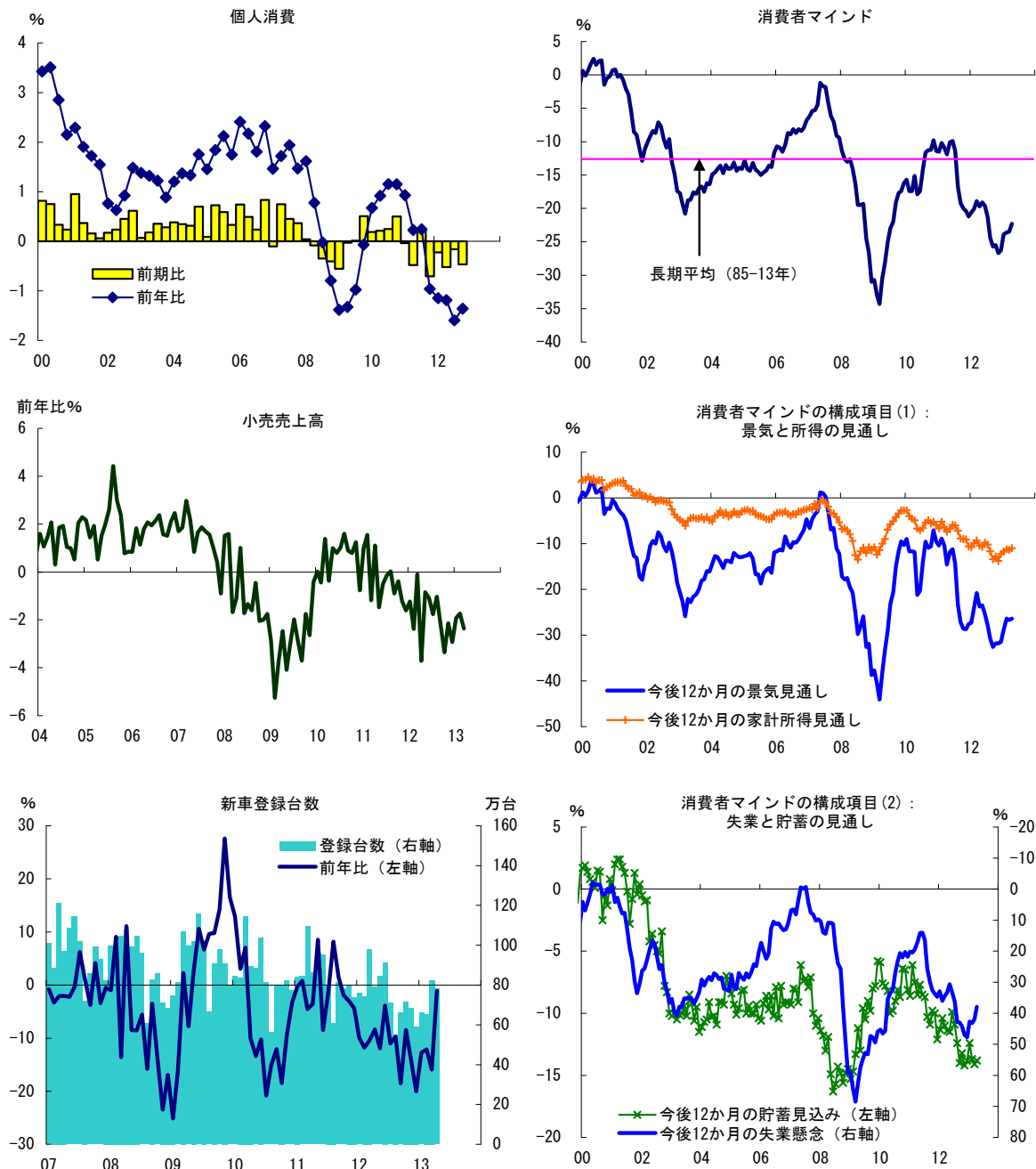


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 3月の小売売上高は前年比-2.4%。特に非食品セクターの落ち込みが大きかった
- 4月の消費者マインドは再び前月比改善。今後12か月の失業懸念が大きく改善したため
- 4月の新車登録台数は前年比-1.1%の78万2千台。前年割れは続くが、減少幅は大幅に縮小。ドイツでは同+3.8%と6か月ぶりにプラスとなった

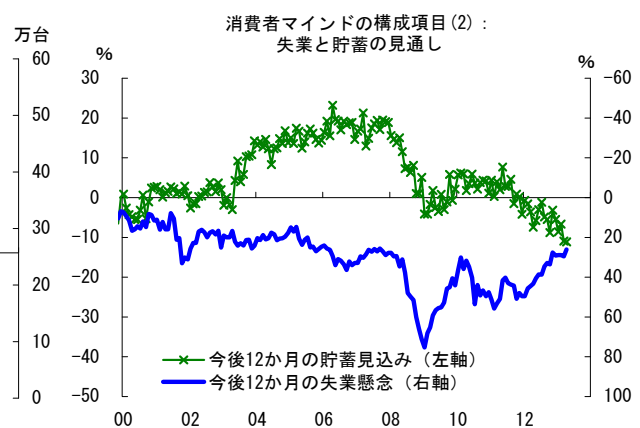
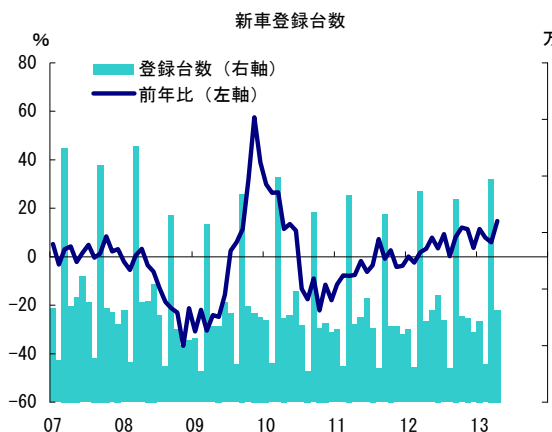
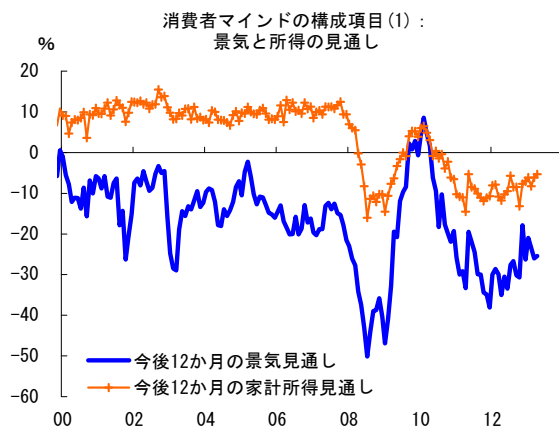
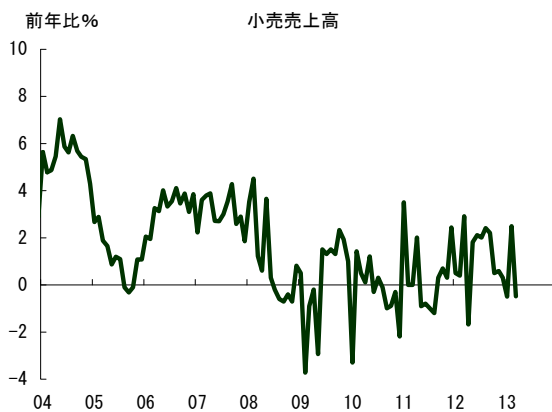
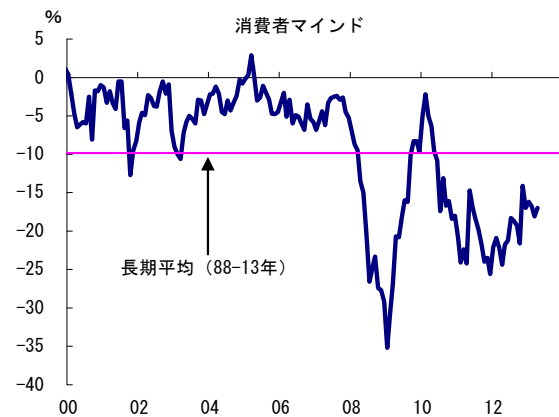
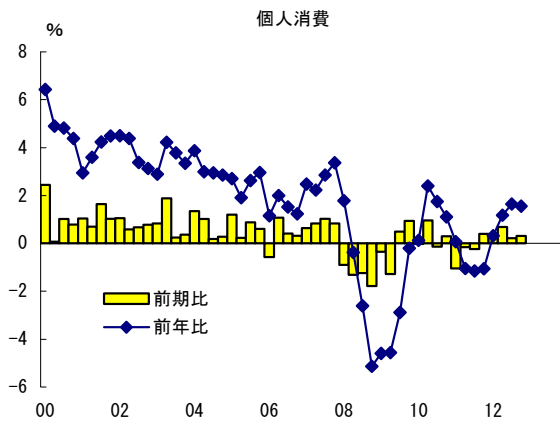


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 3月の消費者マインドはわずかながら3か月ぶりに前月比改善
- 内訳を見ると、今後12か月の家計所得見通しおよび失業懸念が改善
- 4月の新車登録台数は前年比+14.8%と10年3月以来の大幅な伸びを記録した

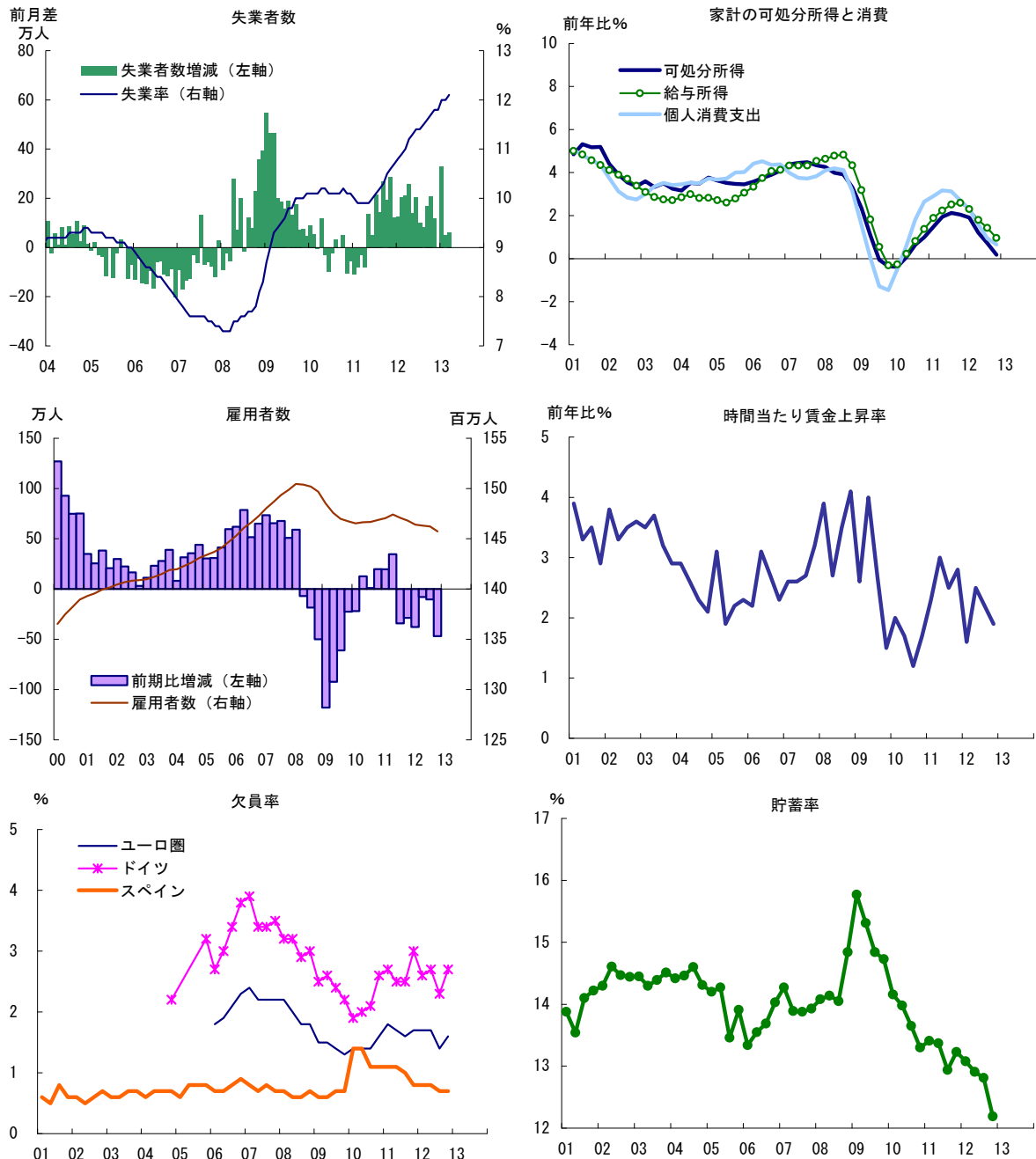


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 3月の失業率は12.1%とユーロ導入以来最悪の水準を再び更新。失業者数は3か月連続で前月比増加したが、24歳以下に限ると2か月連続で減少している
- 12年Q4の家計の可処分所得は前年比+0.2%とかわらうじて前年割れを免れた。給与所得は同+1.0%、個人消費支出は同+0.7%と同様に減速している
- 12年Q4の貯蓄率は12.2%と大幅に低下し、99年の統計開始以来の最低水準を記録

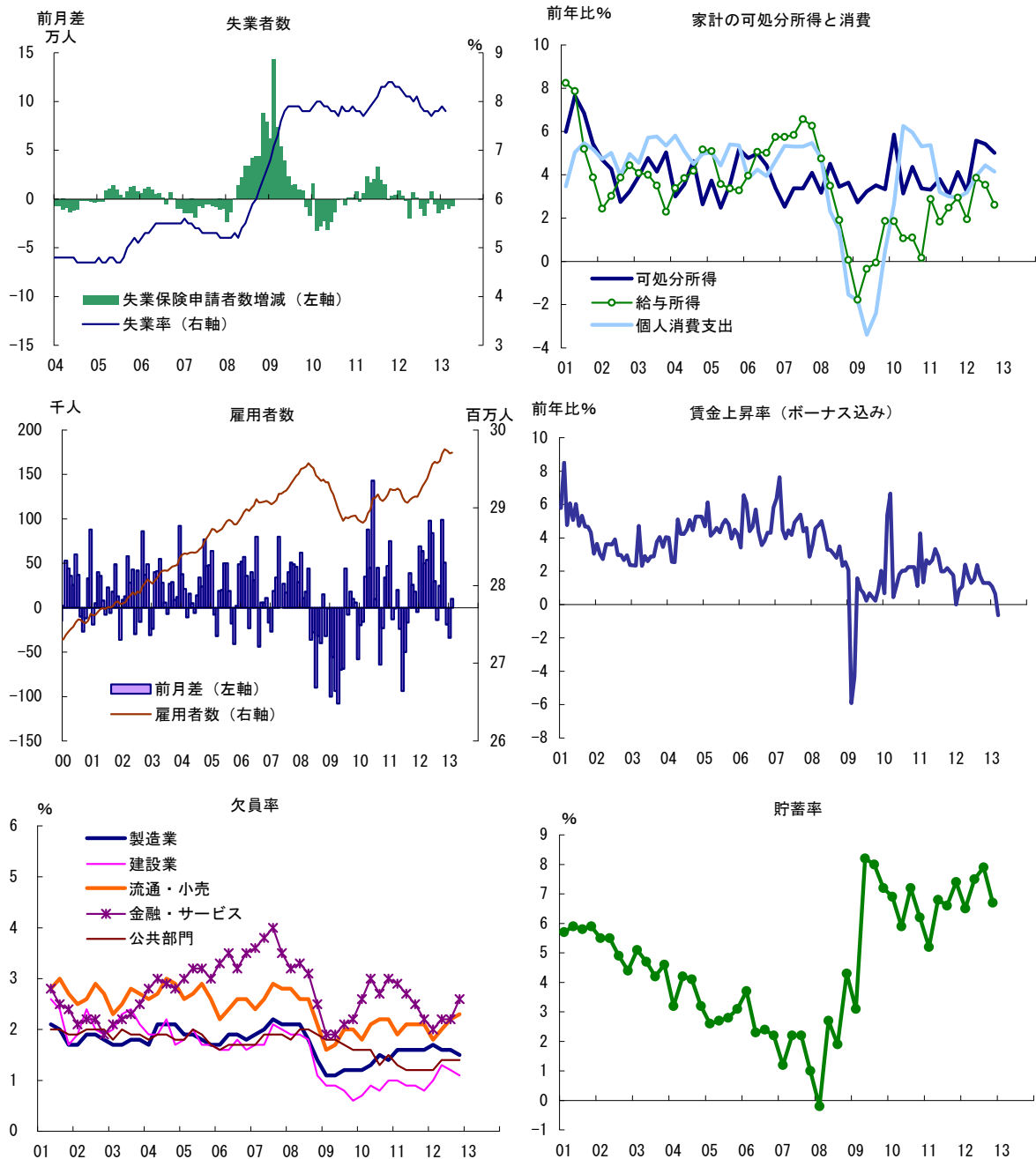


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 1-3月の雇用者数は12-2月比1万人増加と3か月ぶりの増加に転じた。労働力人口も減少したため、失業率は7.8%に低下した
- 4月の失業保険申請者数は6か月連続の前月比減少。年齢層別で見ると、18-24歳の若年層が大きく減少する一方、50歳以上では増加している
- 3月の賃金上昇率は09年3月以来の前年比マイナスに転じた

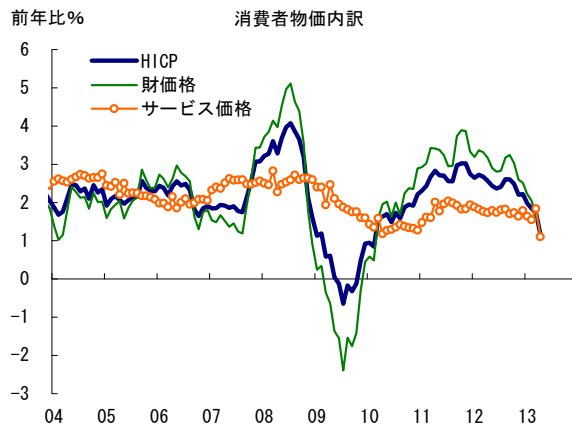
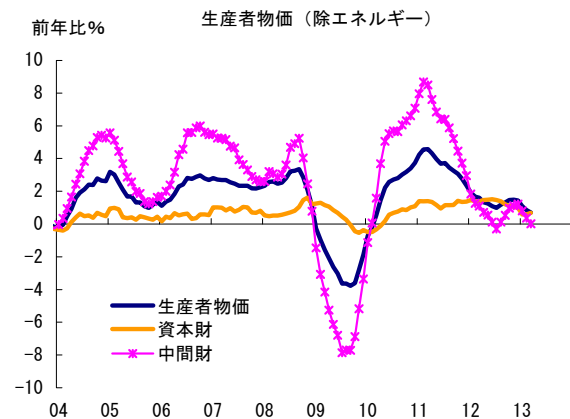
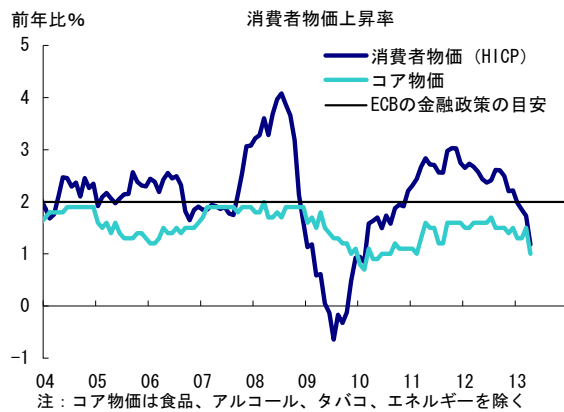


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

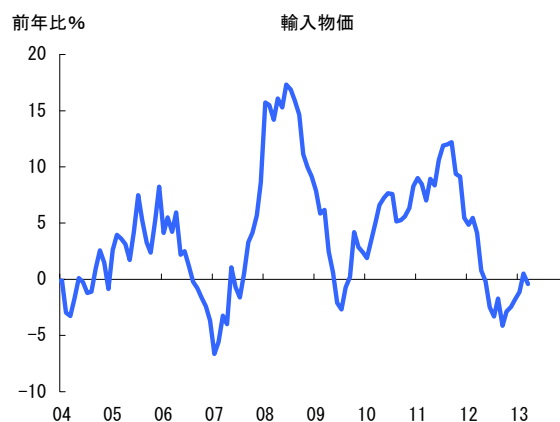
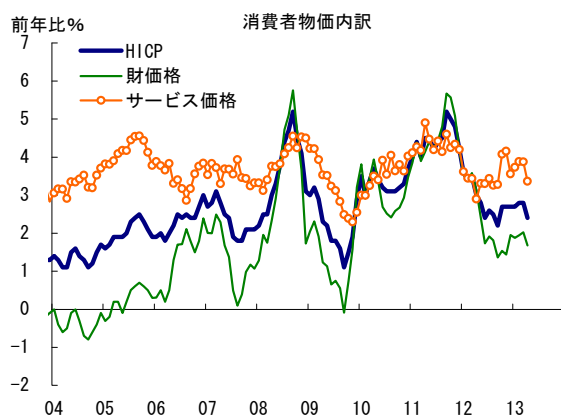
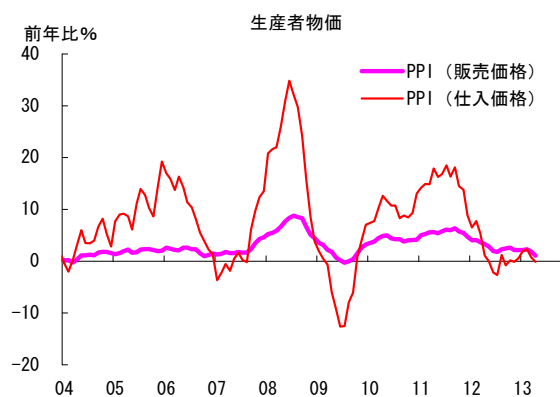
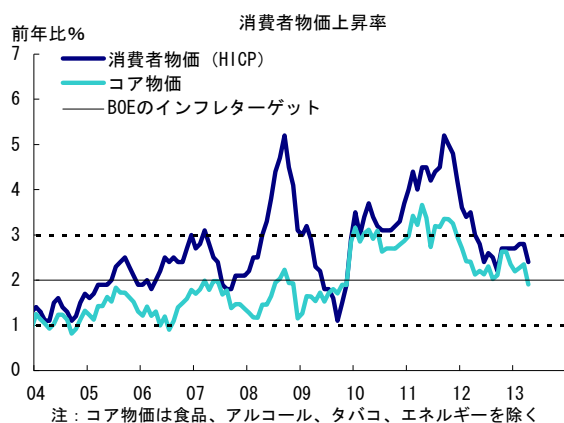
- 4月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.2%。エネルギー価格の下落による影響が大きいが、コア物価も同+1.0%と3月から大きく低下
- 3月の生産者物価は前年比+0.7%。中間財はかろうじて前年割れを回避
- 3月の独輸入物価は前年比-2.3%と3か月連続の前年割れ。4月のユーロの名目実効為替レートは前月比でわずかに上昇



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

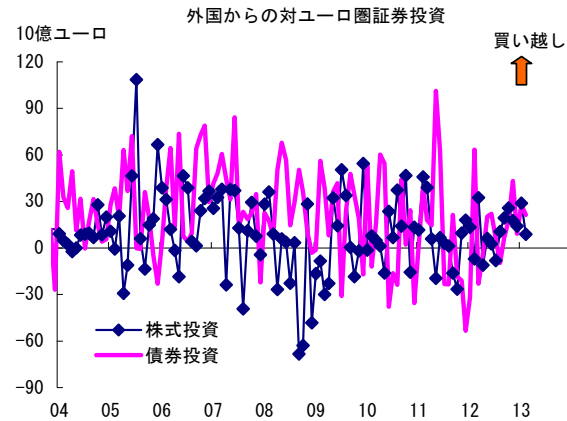
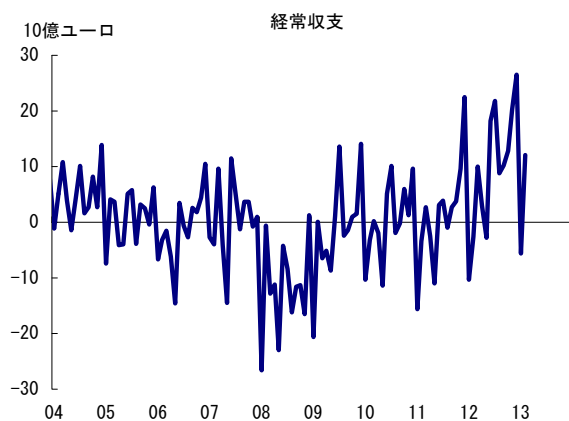
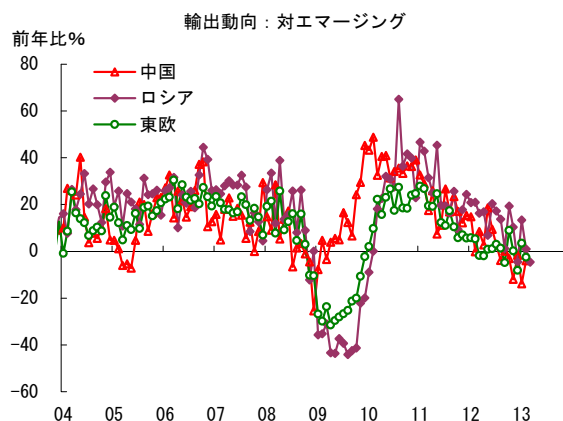
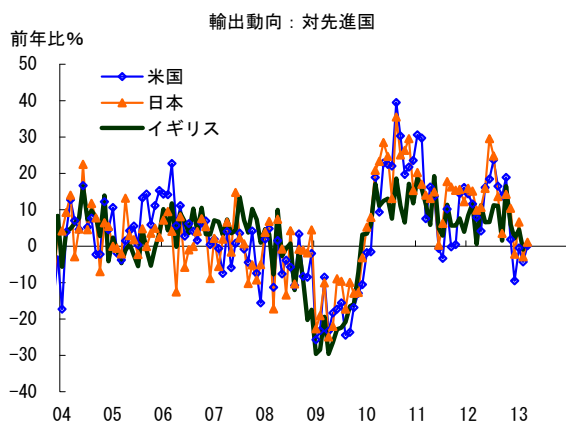
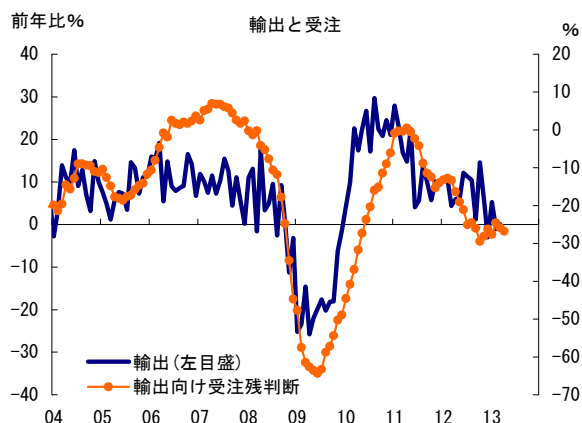
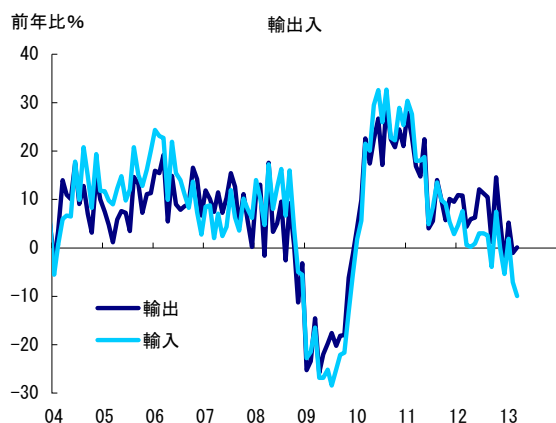
- 4月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.4%と3月から減速。輸送費のマイナス寄与が最も大きく、ガソリンやディーゼル価格の下落により自動車燃料と空輸が大きく低下
- 4月の生産者物価上昇率は、販売価格は前年比+1.1%、仕入価格は同一-0.1%。販売、仕入ともに、石油製品や原油の価格下落による影響が大きい
- 3月の輸入物価上昇率は前年比-0.4%と再び前年割れ。4月のポンドの名目実効為替レートは前月比でわずかに上昇



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

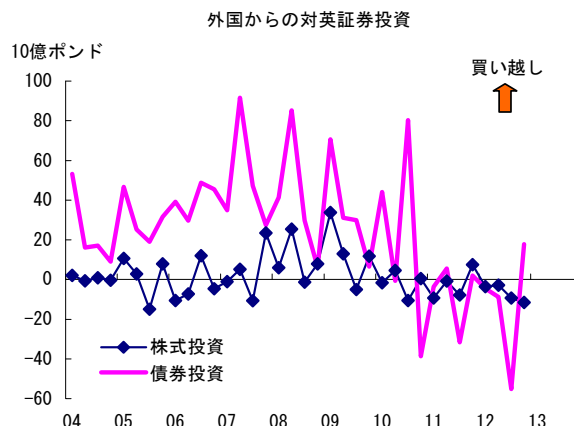
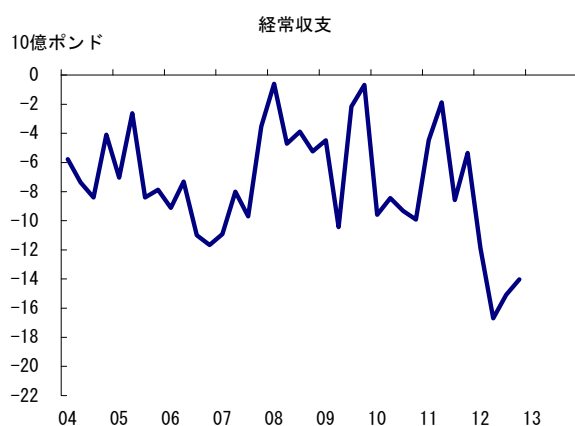
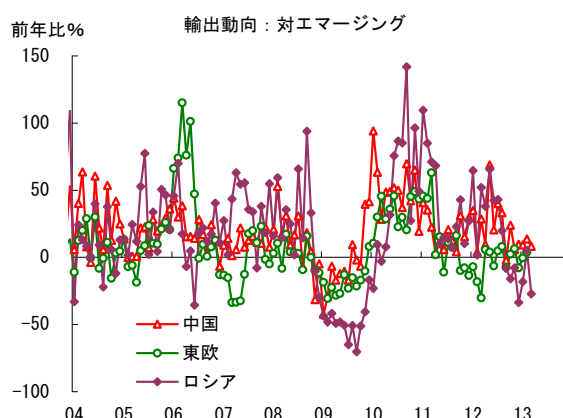
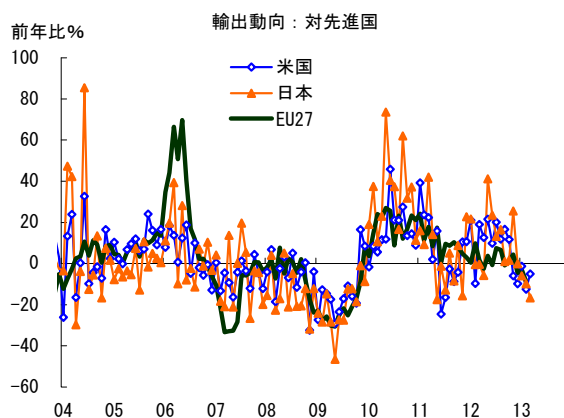
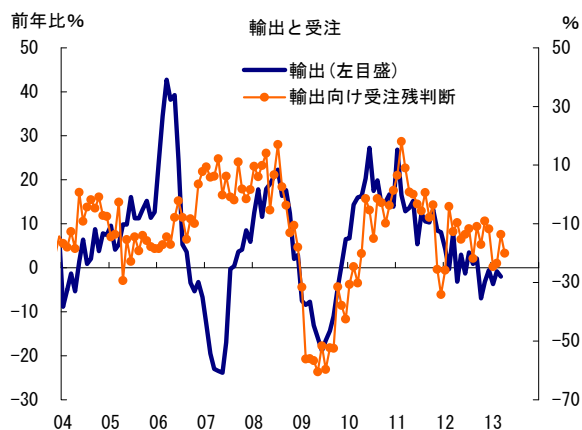
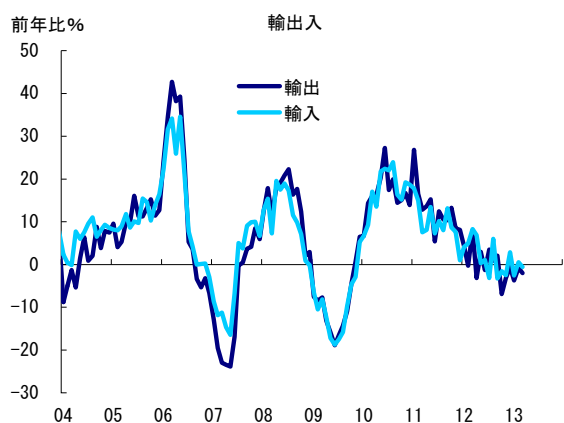
- 3月の輸出は前年比+0.1%、輸入は同-10.0%と輸入が大きく減少。内訳を見ると、燃料輸入が大きく減少している。
- 国別輸出動向を見ると、米国向けは4か月ぶりに前年割れを脱した。一方、中国向けは5か月連続の前年割れとなった
- 4月の輸出向け受注残判断は、2か月連続の前月比悪化



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 3月の輸出は前年比-2.0%、輸入は同-0.6%。内訳を見ると、石油が輸出入ともに大きく減少している
- 国別輸出動向を見ると、先進国向けの不振が続く。特に日本向けは減少幅が拡大。対して、中国向けは前年比プラスを維持している
- 4月の輸出向け受注残判断は、再び前月比で悪化に転じた



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成